

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。
～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで15年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする
(中堅・中小企業の業務改善事例)
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ①新商品開発のヒント ②ISO9000認証取得の手引き
 - ③ISO14001認証取得の手引き ④中小企業のためのIT
 - ⑤材料選択の手引き ⑥設計を考える

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報送信サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、**FAX (06-6443-5319)**でお申し込みください。

公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

書評

「ドラッカー365の金言」

P.F.ドラッカー著 2005年12月 ダイヤモンド社刊 2800円+税金

表題を見て、始め、単なるダイジェスト版かと思ったが、決してそんなものでは無かった。365日、日々研鑽を積むためのガイドブックとでも言っても良いものである。

著者はP.F.ドラッカーであるが、この意義ある一冊を編集したのは、彼の友人のJ.A.マチャレロ教授である。

一日毎に異なるテーマが挙げられ、その後にドラッカーの著作からこの事に関連する文章が引用、編集されている。更にAction Pointとして読者自身に対する行動指針となるものが示される。

著者PFドラッカーは1909年(明治42年)オーストリアのウイーンに生まれ、2005年11月11日(平成17年)アメリカで逝去した。(享年96歳)

20世紀から21世紀へ、激動する世界を見て育った社会学者である。

その提言は著作として、第一次大戦後の第一作「経済人の終わり(1939年)」を最初として、以後65年間、世界的に起こる重要な問題・事象を、逸早く取上げ、採るべき行動を示してきた。

今や日本でも、ドラッカー学会を造ろう言う動きもあり、多くの信奉者が生まれつつあるが、ドラッカーの著作は膨大で、さてどの著作から読んだら良いかと迷う人も多いようだ。

その様な人達にとって、この書は格好の入門の書と言えよう。

毎日、一日一提言を充分吟味した上に、更に重要なことは、Action Pointに従って実践する事が求められる課題である。

読者はそれぞれの立場で問題を分析し、作業する事を求められている。そうする事により本の知識が知恵となり、実際に役立つ事を、著者は期待しているようである。(野町記)

